

誠和荘だより

第153号
令和8年7月1日
発行

五月まつり

特養

養護

デイ

合同開催

5月14日（木）

新緑が美しく映える心地よい季節の中、今年も恒例の「五月まつり」が開催されました！

屋外に特設されたステージでは、職員による力強い和太鼓の演奏や賑やかな出し物が披露され、会場は大盛り上がり。入居者の皆様も、お腹に響く太鼓の音に合わせて手拍子をされたり、お互いに笑顔でピースサインをされたりと、お祭りの雰囲気を楽しんでいました。



喫茶タイムでは美味しいケーキやフルーツ、お饅頭を召し上がっていただきました。青空の下でいただくお茶の味もまた格別でした。余興の民謡を楽しまれたり、横井講師による体軸体操に皆様で参加されたりと楽しいひと時を過ごされていました。たくさんの弾けるような笑顔と活気に包まれた素敵な一日となりました。



特養

5月24日（日）

『運動会、輪投げ』

輪投げに沢山の方が参加してくださり皆様楽しんでいました。

お互いに応援しあい、大変盛り上がっていました。

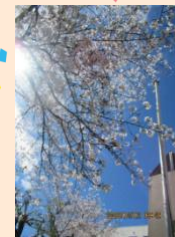


運動会

4月2日（木）

『お花見＆春の運動会』

玉入れ、タオル落としゲームをして「赤チーム、白チーム頑張れ！」と競い合いました。お花見では室内で桜を見ながら美味しいお団子を食べ楽しいひとときを過ごしました。



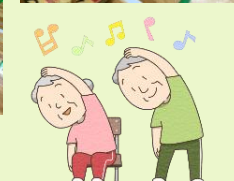
名古屋市老人ホーム交歓輪投げ大会

特養

6月5日（金）

特養を代表して4名の利用者様が出場されました。結果は残念でしたが、とても楽しそうに輪投げをされていました。

また輪投げ以外にもゲストの理学療法士の方の健康体操も行われ、一生懸命体操されていました。



養護を代表して6名の利用者様が出場されました。

入賞する事は出来ませんでしたが、この大会にむけて練習したこともあり素晴らしい集中力とチームワークの良さが光っていました。

大会終了後は「楽しかった」「次は入賞したい」との声が聞かれました。



おもな行事予定

7月
8月
9月

七夕まつり
夏まつり・スイカ割り
敬老祝賀会



デイサービスセンター誠和荘



当デイサービスにも新しい季節の風が吹き込んでいます。

私たちは「食・動・楽」の3つの柱を大切にしながら、利用者様が安心して過ごせる時間と、日々の楽しみを感じられる環境づくりに取り組んでいます。

今回は、日常の様子や取り組みを少しご紹介します。

食 - 手作りの温かさを感じるひととき

当デイサービスでは、不定期で職員によるおやつイベントを開催しています。旬の食材を使った季節感のあるメニューや、昔懐かしい味わいのおやつなど、皆様に喜んでいただけるよう工夫を凝らしています。

調理の香りが広がると「今日は何ができるのかしら」「いい匂いだね」と自然と会話が生まれ、食べる時間が交流の場にもなっています。



動 - その人らしい生活を支える機能訓練

利用者様が日常生活をより快適に過ごせるよう、平行棒歩行やメドマー（脚の医療用エアマッサージ器）によるマッサージなど、身体の状態に合わせた機能訓練を行っています。スタッフが一人ひとりのペースに寄り添い、無理なく続けられる運動を大切にしています。「歩くのが楽になった」「足が軽くなった気がする」といった声も多く、継続することで小さな変化が積み重なっていきます。



楽 - 季節を感じ、つながりを育む時間

季節の行事や誕生会に加えて、美容レクリエーションも取り入れています。ボランティアの皆様にご協力いただくハンドエステは、やさしい香りと心地よい刺激に包まれ、「気持ちいいね」と笑顔がこぼれる人気の時間となっています。誕生会では、みんなで「ハッピーバースデー」を歌い、温かい拍手に包まれながらお祝いの言葉をお届けします。大きなイベントではありませんが、心がほっと和む時間が流れ、自然と笑顔が広がります。



「デイサービスセンター誠和荘をよろしくお願いいたします」

利用者様一人ひとりが安心して過ごせる場所であり続けられるよう、職員一同努めてまいります。「食・動・楽」を通して、皆様の毎日に小さな楽しみと心地よさをお届けしてまいります。

サロン誠和のご案内

事前申し込み・マスク着用で「サロン誠和」を楽しみましょう！
ぜひご参加ください（＾＾）

▼健康体操（地域定員 10 名程度）

日時 7月16日（木）・9月24日（木）午後1時30分～3時

※8月はお休み

▼民踊（地域定員 5 名程度）

日時 7月21日（火）・9月15日（火）午後1時30分～3時



※感染症の流行により中止・変更があります。

養護栄養士による食コラム



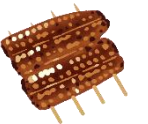
土用（どよう）といえば丑の日（うしのひ）が有名ですが、土用の由来や夏の土用に鰻を食べるようになった理由についてご存じでしょうか。



土用の起源と由来は諸説ありますが、古代中国の五行思想によると万物は木、火、土、金、水の5種類の元素から成り立っているとされており、四季の春に「木」、夏に「火」、秋に「金」、冬に「水」を当てはめました。しかし季節は急に変わらないので変わり目に「土」が当てはめられました。これが「土用」と呼ばれる理由のひとつです。

土用は立春、立夏、立秋、立冬の前の約18日間のことで年に4回あります。「夏の土用」は立秋（8月）前の土用のことで1年の中で最も暑さが厳しいとされており、健康管理が重要な時期であることから土用と言えば夏の土用を指すことが多くなりました。

「土用の丑の日」とは、それぞれの土用の期間中に巡ってくる丑の日のことです。年によっては、1つの土用の期間中に2日間含まれていることもあり、その場合1回目を「一の丑（いちのうし）」、2回目を「二の丑（にのうし）」と言います。



土用の丑の日に鰻を食べるのは、滋養のあるものを食べて暑さを乗り切る「食い養生」という風習からきています。流行し始めたのは江戸時代のことです。暑い時期にはさっぱりした食べ物が好まれるため、夏に鰻があまり売れず困っていた鰻屋が平賀源内に宣伝を依頼しました。昔から丑の日にちなみ「う」が付くものを食べると夏負けしないという言い伝えがあったことから、「丑の日に鰻を」と看板に書いたことが広まるきっかけになったというのが有力な説のようです。

これから厳しい暑さが待っています。食欲もなくなりがちですが、そんな時こそしっかり食べることを意識して暑さに負けないようにしましょう。



編集・発行 社会福祉法人八起社 老人ホーム誠和荘

〒468-0001 名古屋市天白区植田山二丁目101 番地

☎ 052-781-2859 ホームページ//hakki-sya.com

養護老人ホーム誠和荘
特別養護老人ホーム誠和荘
デイサービスセンター誠和荘
誠和荘居宅介護支援事業所
誠和荘短期入所生活介護事業所